

製品名: TYR ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19467**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	TYR
別名	TYR; Tyrosinase; LB24-AB; Monophenol monooxygenase; SK29-AB; Tumor rejection antigen AB
遺伝子 ID	7299.0
SwissProt ID	P14679
免疫原	抗血清はヒトチロシナーゼ由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 471-520

背景

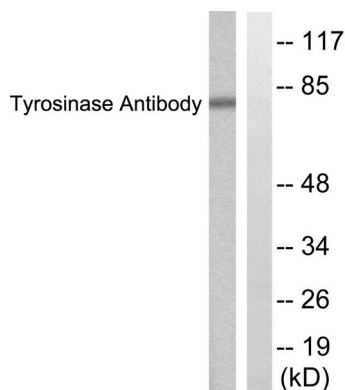
チロシナーゼ(TYR) ホモ・サピエンス この遺伝子によってコードされる酵素は、チロシンからメラニンへの変換における最初の 2 段

階と、少なくとも1段階のその後の段階を触媒する。この酵素はチロシン水酸化酵素とドーパ酸化酵素の両方の触媒活性を持ち、機能には銅を必要とする。この遺伝子の変異は眼皮膚白皮症を引き起こし、非病理的な遺伝子多型は皮膚の色素沈着の変異を引き起こす。ヒトゲノムには、この遺伝子の3'末端側に類似した偽遺伝子が存在する。[RefSeq提供、2008年10月],触媒活性: L-チロシン + L-ドーパ + O(2) = L-ドーパ + ドーパキノン + H(2)O,補因子: サブユニットあたり2個の銅イオンを結合します。疾患: TYRの欠陥は、眼皮膚白皮症I型温度感受性 (OCA-ITS) [MIM:606952]の原因です。OCA-ITS患者は、腋窩と頭皮が白く、腕と脚の毛が色素沈着しています。疾患: TYRの欠陥は、眼皮膚白皮症IA型 (OCA-IA) [MIM:203100]の原因です。OCA-Iは、チロシナーゼ陰性眼皮膚白皮症とも呼ばれ、髪、皮膚、目の色素が欠如していることを特徴とする常染色体劣性疾患です。OCA-Iは、不活性酵素の産生によりチロシナーゼ活性が完全に欠如していることを特徴とするIA型と、チロシナーゼ活性の低下を特徴とするIB型の2種類に分けられます。OCA-IA患者は、出生後にメラニン色素が生涯欠如し、紫外線に対する感受性が高まり、皮膚がんになりやすいことが示されています。疾患: TYRの欠陥は、眼皮膚白皮症IB型 (OCA-IB) [MIM: 606952]の原因です。黄色突然変異型白皮症とも呼ばれます。OCA-IB患者は、出生時には白い髪が急速に黄色または金髪に変わります。彼らは、最小限から中程度の量の皮膚色素と眼色素の発達を示します。機能: これは、メラニンやその他のポリフェノール化合物などの色素の形成に機能する銅含有酸化酵素です。チロシンからDOPA、DOPAからDOPAキノン、およびおそらく5,6-ジヒドロキシインドールからインドール-5,6キノンへの律速変換を触媒します。誘導:UV-B照射後に発現が増加。オンライン情報:Retina InternationalのScientific Newsletter、オンライン情報:Snowy stardom - 2004年8月号49、オンライン情報:TYR変異、オンライン情報:チロシナーゼ エントリ、多型:R402Q多型とTYRの変異対立遺伝子の複合ヘテロ接合性は、常染色体劣性眼白皮症の一般的な原因です。R402Q多型は、MITF遺伝子の欠失を伴う眼白皮症を伴うワールデンブルグ症候群II型 (WS2-OA) にも見られる。多型: TYRの遺伝的変異は、皮膚/毛髪/眼色素沈着タイプ3 (SHEP3) [MIM:601800]と関連している。毛髪、眼、皮膚の色素は、ヒトの表現型変異の最も顕著な例の一つであり、広い正常範囲は地理的に階層化されている。皮膚の場合、赤道から離れるほど、個人の色素は薄くなる傾向がある。対照的に、ヒトの眼と髪の色における変異の大部分はヨーロッパ系の人々に見られ、他のほとんどのヒト集団は茶色の眼と黒髪に固定されている。類似性: チロシナーゼファミリーに属する。、

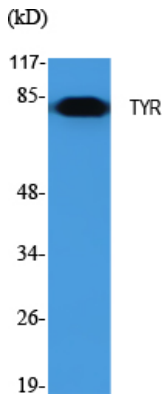
研究分野

チロシン代謝;リボフラビン代謝;メラニン生成;

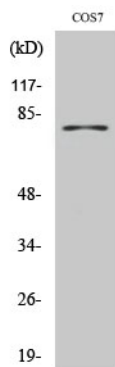
画像データ



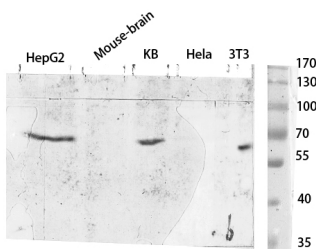
UV 30°処理したCOS7細胞ライセートのチロシナーゼ抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TYR ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



TYR ポリクローナル抗体を用いた COS7 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



各種細胞ライセートのウェスタンブロット分析。抗体は 1:1000 に希釈。二次抗体は 1:20000 に希釈。